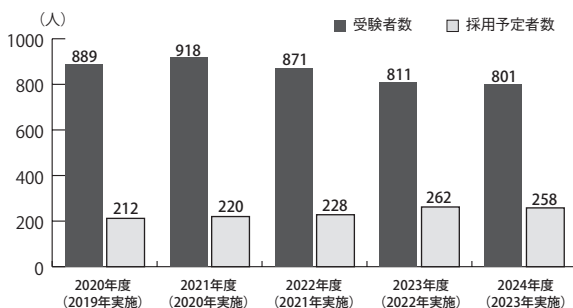


福井県

面積	4,191 km ²
人口	738,691人
県の花	水仙
県の木	松
県の鳥	つぐみ

求める教員像	1 校種・教科等に関する専門的知識・実践的技能を持った人 2 専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人 3 子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域の方とも円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応できる人 4 教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人
出願期間	公開日 4月26日(金) 電子申請 5月1日(水)～22日(水) 19:00
試験日程	1次試験 試験日 6月29日(土)・30日(日) 合格発表日 7月22日(月) 2次試験 試験日 適性検査:7月下旬(オンライン) 小論文:8月1日(木) 個人面接:8月1日(木)・2日(金)・5日(月)～8日(木)の指定した1日 合格発表日 9月30日(月)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	【小】 【中高】国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、家庭 【中】技術 【高】農業、工業、商業、情報 【特】 【養】 【栄】
特記事項	■ チャレンジ第1次選考 大学3年生で規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般・専門を前倒し受験可能。合格者は翌年度実施の1次を免除。■ 特別選考 ● 盲学校(高等部)保健医療科担当教員特別選考 1次は専門のみ。2次は適性検査と面接を実施。● 障がい者特別選考 ● R7大学院特別選考 令和4年度～6年度試験においてR7大学院特別選考受験を認められた者で、専修免許状を令和7年度末までに取得見込の者は、1次を免除。2次は小論文に代えてレポートを提出。● 教育エキスパート特別選考 以下の(a)～(e)において免許状所有の有無は問わない。 (a)専門教育分野 【中高】数学、理科、【高】農業、工業、商業、情報志願者で、民間企業等で3年以上の実務経験者又は博士学位取得者で、教科に関する専門的知識等を有する者は、1次の教職・一般を免除。2次は小論文に代えて実績調書を提出。 (b)英語教育分野 【中高】英語志願者で、英語を母語とする外国籍を有し必要な日本語能力を有する者、又は規定の要件を満たす日本人は、1次を免除。2次は小論文に代えて英作文を実施。 (c)芸術教育分野 【中高】音楽、美術志願者で、民間企業等で3年以上の芸術活動又は指導に従事し、規定の要件を満たす者は、1次を免除。 (d)スポーツ教育分野【従来枠】 【中高】保体志願者で、民間企業等で3年以上の競技経験又は指導経験を有し、規定の要件を満たす者は、1次を免除。(e)スポーツ教育分野 【地域連携枠】 【中高】保体志願者で、民間企業等で3年以上の競技経験又は指導経験を有し、規定の要件を満たす者は、1次を免除。2次は小論文を免除。■ 免除 (1)第1次選考全部免除 ②他都道府県国公立学校での正規勤務経験者 ①昨年度1次合格者 ②昨年度「大学3年時第1次選考」合格者 ③県内国公立学校勤務の講師等経験者 (2)第1次選考一部免除 次の④～⑦対象者は、1次の教職・一般を免除。④他都道府県国公立学校での正規勤務経験者(勤務歴のない校種・教科等で受験する場合) ⑤昨年度基準到達者 ⑥昨年度「大学3年時第1次選考」基準到達者 ⑦国際貢献活動経験者 ⑧教職大学院2年在学者

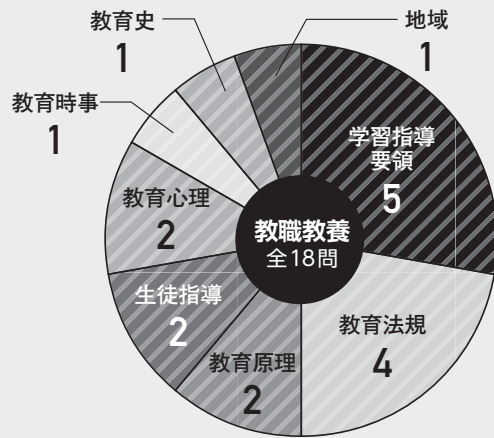
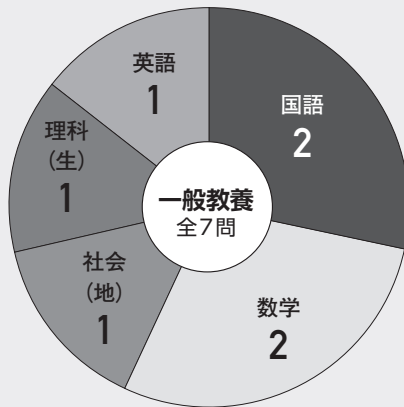
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	967	305	93
不登校(人)	441	963	414

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



*「地域」には「教育時事」も含まれる。

- ▶ 生徒指導で頻出の「生徒指導提要」
- ▶ 教育時事で必出のご当地問題
- ▶ 人文科学は英語(文章読解)

〈教職教養〉のうち、**学習指導要領**では道徳教育が必出である。今年度は「特別の教科 道徳」の指導方法・評価に関する問題が出題された。また、小学校及び中学校学習指導要領総則の「児童(生徒)の発達の支援」から生徒指導やキャリア教育に関する問題、総合的な学習(探究)の時間から育成を目指す資質・能力と評価を問う問題もみられた。このほか、学習指導要領の変遷を問う問題も出題されている。

教育原理(特別支援教育, 教育方法等)のうち、特別支援教育では、個別の教育支援計画を問う問題がみられた。教育方法では、発見学習や適性処遇交互作用, プロジェクト学習, 自己調整学習に関する問題が出題された。

生徒指導では、「生徒指導提要」(2022年)が頻出である。今年度は「第1章 生徒指導の基礎」から「1.1.2 生徒指導の実践上の視点」に関する問題が出題された。

教育時事ではご当地問題が必出であり、今年度は昨年度に続いて「福井県教育振興基本計画」(2020年)から基本的な方針とその施策の組み合わせ問題が出題

された。国レベルでは、生徒指導と重複するが、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」(2023年)が出題された。

教育法規では、教育基本法と学校教育法, 教育公務員特例法, いじめ防止対策推進法が出題されている。

教育心理では例年, 幅広い領域から出題されており、今年度は発達理論(アタッチメント, 青年期の仲間関係の変化)が出題された。

教育史のうち、西洋教育史ではソクラテスやプラトン, アリストテレスが出題された。日本教育史では森有礼等が出題されている。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では国語(現代文読解, 古文読解等)と英語(文章読解)を中心とした出題となっているが、今年度、国語では詩が出題された。**社会科学**では幅広い分野から出題されており、今年度も同じような傾向であった。**自然科学**では例年、数学の計算や図形以外の領域と理科全般を中心とした出題となっており、今年度も同様の傾向であった。